

暖かくなり、園庭のモグラが随分と活発になりました。さくら組の玄関マットの下に2つの穴を見つけた子どもたち。「水を入れよう!」「掘ってみよう!」と試していると、「あっちにも!ここにも!」と、他にもたくさんの穴を発見。「これって、繋がっているんじゃない?」と想像し、夢中で掘って確かめていました。そんな好奇心・探求心旺盛なさくら組。第3学期も残すところあと一日となりました。4月からは、いよいよ憧れていたつき組です。期待に胸を膨らませ、自信をもって進級してほしいと思います。

だいすきな年長さん、卒園おめでとう

年長さんの卒園に向けて、“ありがとうの気持ちを伝えたい”という思いから、お別れ会をすることにしました。時間をかけてみんなで相談していく中で、「いっぱい遊んでくれて嬉しかった」「小学校でも頑張ってもらいたいな」「僕たちのこと忘れないでほしい」「私たちも、つき組さんのこと忘れないよね」などのいろいろな思いを出し合い、年長さんへ伝えたい言葉を決めていきました。また、喜んでもらえるように、『にじのむこうに』の歌と、さくら組の思いがたくさん詰まっている『てびょうしいっぱいおめでとう』の2曲を歌うことにしました。“おめでとう”“ありがとう”の気持ちが年長さんにしっかり伝わるよう、何度も何度も練習をしたり、心を込めてコサージュ作りをしたりしました。



新しいさくら組さんへ

「もうすぐ、新しいさくら組さんが入ってくるね。」「ドキドキする!」と、新しいさくら組さんの入園を心待ちにしている子どもたち。部屋などを飾り付けたり、プレゼントのポシェットを作ったり、“初めての幼稚園、どんな気持ちで来るだろうか?”“どんな言葉をかけてあげると安心したり、楽しみになったりするだろうか?”と考えながら、壁面に言葉を残したりし、お兄さんお姉さんになる準備を進めていきました。



『ようちえんたのしいよ』『きゅうしょくおいしいよ』『こまったときはつきぐみさんにいってね』『いろいろなことをしてあそべるよ』など、新しいさくら組さんが、幼稚園に期待をもったり安心したりできるような言葉を考え、風船に書きました。

さくら組、たのしかったね

“何して遊ぼう?”“これやりたいな”“これ面白そう!”と、やりたいことを見つけては思い切り遊んできたさくら組の子どもたち。「さくら組で一番楽しかったことは?」と聞くと、プリンセスごっこ・遠足・年長さんとのドロケイなど、たくさんの思い出を話してくれました。たくさん遊んで、笑って、たまに泣いて…。大好きな友達と一緒に、この一年でいろいろな経験を重ね、心も体も大きくなったことを改めて感じます。保護者の皆様から見て、この一年お子さんはどんなことを楽しんだり頑張ったりし、どんなところが成長したでしょうか?ぜひ、ご家庭でも、お子さんと一緒に一年間を振り返りながら、たくさん認め、たくさん褒めてあげてください。



友達や先生だけでなく生き物や植物、物にも思いやりをもって接することができる、本当に心優しいさくら組の子どもたちと一緒に、毎日楽しく過ごすことができたことをとても嬉しく思います。つき組になっても、友達と仲良く、いろいろなことに挑戦し、優しい気持ちのまま大きく成長してほしいと思います。一年間、保護者の皆様のご理解、ご協力本当にありがとうございました。